

DPC データ分析
業 務 仕 様 書

市立福知山市民病院

仕 様 書

本仕様書は、市立福知山市民病院（以下、甲という。）が賃貸借する市立福知山市民病院 DPC 分析ソフト業務（以下「当該業務」という。）の仕様を定めるものであり、受託者（以下、乙という。）は本仕様書に基づき、円滑、正確かつ迅速に当該業務を遂行するものとする。

1 業務名称

市立福知山市民病院 DPC データ分析業務

2 履行期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日まで

3 業務内容

- (1) 十分な運用実績（200 病院以上と契約）のあるソフトウェアであること。
- (2) DPC 提出データ(D ファイル、EF ファイル、様式 1、3、4)を毎月取込み、分析データとして利用できること。
- (3) DPC 公開データ(DPC 制度導入の影響評価に関する調査の集計結果のこと)を取込むことができ、分析データとして利用できること。
- (4) DPC 提出データ及び分析結果は市販のツール（CSV・PDF・Excel 形式等）で取出しが可能であること。
- (5) 機能評価係数Ⅱの保険診療指数における「病院情報の公表」に係る病院指標の作成ができること。
- (6) クリニカルパス分析がおこなえること。
- (7) 機能評価係数Ⅱの分析が行えること。
- (8) 入院患者情報を基に、診療科、DPC、ICD-10、入退院年月日等、また複合条件を指定して簡単に抽出できること。
- (9) 出来高請求金額と包括請求金額の差額分析が可能であること。
- (10) DPC 診断群分類コード単位で日々の診療行為を可視化することが可能であること。
- (11) DPC コーディングチェック機能が搭載されていること。
- (12) 同規模病院との比較（症例数・1 日単価・D P C Ⅱ退院率・加算算定率等）が行えること。
- (13) DPC 公開データを活用した全国の DPC 病院と施設間比較ができること。
- (14) 在院日数や診療区分別医療資源投入量等の診療特性についてベンチマークが可能なこと。
- (15) 同一 DPC コード内で自院と比較対象病院の症例について、診療行為レベルで実施回数を比較することができる。
- (16) 患者のすべての診療行為を、入院経過日毎に比較することができる。
- (17) 比較対象病院の条件と実施した診療行為の条件を任意に指定し、病院間で診療行為の比較をすることができる。
- (18) 複数の患者に対する診療行為の実施率から、診療プロセスを可視化し、他院と比較が可能であること。
- (19) 病床規模を指定して比較先の病院を絞り込みが可能なこと。
- (20) 甲の職員が乙のソフトを使用する研修会などに参加するなど、乙のソフトを使用するための支援を行うこと。
- (21) データ識別番号が抽出可能なこと。
- (22) ライセンス数が 2 0 以上あること。

7 契約書

契約書には、次の事項を定めるものとする。

- (1) 契約期間は令和5年4月1日から令和10年3月31日までとすること。
- (2) 個人情報の保護に関すること。

9 その他

- (1) 乙はシステムの障害や照会事項の発生時には遅滞なくこれに対応し、甲の業務に支障が生じないようにすること。
- (2) 乙は当該業務を実施するに当たり、甲の指示に従い速やかに準備（操作研修を含む）を行うこと。なお、機器等の準備に特段の考慮をしなければならない状況が発生する場合は、別途甲乙協議の上決定する。
- (3) 乙は福知山市個人情報保護条例に基づいて、個人情報の利用及び保護を適切に行うこと。
- (4) この仕様書に記載のない事項については、甲乙協議の上決定する。